

■ 著者紹介

青竹 美佳 (あおたけ みか)

序, 第6章, 第11章～第13章 執筆

略歴

京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
現在, 大阪大学大学院高等司法研究科教授

主要業績

『遺留分制度の機能と基礎原理』(法律文化社, 2021年)
『NBS 家族法〔第3版〕』(日本評論社, 2021年, 共著)
Problems in Divorce Law in Contemporary Japan (現在の日本における離婚法の諸問題), *Osaka University Law Review*, No.66 (2019)
『民法⑤親族・相続判例30!』(有斐閣, 2017年, 共著)

渡邊 泰彦 (わたなべ やすひこ)

第1章 執筆

略歴

同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士後期課程修了。博士(法学)
現在, 京都産業大学法学部教授

主要業績

「個人の尊厳とセクシュアリティの多様性」『現代家族法講座第1巻 個人, 国家と家族』(日本評論社, 2020年)
「同性の両親と子—ドイツ, オーストリア, スイスの状況(その1)～(その6・未完)」
産大法学47巻3・4号合併号(2014年)～53巻3・4号合併号(2020年)
「第3の性別は必要か—ドイツ連邦憲法裁判所2017年10月10日決定から」産大法学52巻1号(2018年)
「子と母の女性パートナーとの母子関係の成立—オランダにおける子とデュオマザーの親子関係」産大法学50巻3・4号(2017年)

鹿野菜穂子 (かの なおこ)

第2章～第4章 執筆

略歴

九州大学大学院法学研究科修士課程修了, 同博士後期課程単位取得退学
現在, 慶應義塾大学大学院法務研究科教授

主要業績

『基本講義消費者法〔第4版〕』(日本評論社, 2020年, 共編著)
『新ブリメール民法1 民法入門・総則〔第2版〕』(共法律文化社, 2020年, 共著)
『改正債権法コンメンタール』(法律文化社, 2020年, 共編著)
『消費者法の現代化と集团的権利保護』(日本評論社, 2016年, 共編著)

西 希代子 (にし きよこ)**第5章 執筆****略歴**

東京大学法学部卒。博士（法学）東京大学。上智大学法学部准教授等を経て、現在、慶應義塾大学大学院法務研究科教授

主要業績

「日本遺留分法の誕生—継受法からの脱却」法曹時報72巻1号（2020年）1頁等

冷水登紀代 (しみず ときよ)**第7章, 第8章 執筆****略歴**

大阪大学大学院法学研究科博士前期課程修了
現在、甲南大学共通教育センター教授

主要業績

『新・コンメンタール民法（家族法）』（日本評論社，2021年，共著）※第2章婚姻，第5章後見から第7章扶養 執筆
『新注釈民法(19)相続(1)』（有斐閣，2019年，共著）※第2章相続人 執筆

宮本 誠子 (みやもと さきこ)**第9章, 第10章 執筆****略歴**

大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了
現在、金沢大学人間社会研究域法学系教授

主要業績

『相続法制の比較研究』（商事法務，2020年，共著）「第2部フランス法」
「フランス法における遺産管理と『遺産』概念」社会科学研究68巻2号（2017年）
『判例にみるフランス民法の軌跡』（法律文化社，2012年，共著）
「フランス法における遺産の管理(1)(2・完)」阪大法学56巻4～5号（2006～2007年）